

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。  
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第 127 回 「スターバックスの SCM 改革」

▼賀詞交歓会・新春の集いのご案内▼

「東京・大阪・名古屋・福岡」開催のお知らせ

▼大会・展示会▼

【01】～身近な改善事例をお気軽にご応募ください！～  
「全日本物流改善事例大会 2011」発表者募集中

【02】～企業のロジスティクス高度化・効率化を支援する、  
各種のソリューション情報が一堂に会する展示会～  
「ロジスティクスソリューションフェア 2011」出展者募集

▼講座・セミナー・研究会▼

【01】～2011年度より、カリキュラムが新しくなります！～  
「物流技術管理士資格認定講座 新カリキュラムのご案内」

【02】～人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略～  
「物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011（速報版）のご案内」

【03】～グループ演習を通じて物流コストダウンのための実践力の基礎を習得～  
「物流技術管理士補スクーリング 2011（春）のご案内」

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

▼最近の動向から▼

★

■最近の動向から（第 127 回）■  
>>スターバックスの SCM 改革<<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

今回はグローバル企業の改善事例を紹介します。  
スターバックは、世界 51 ヶ国に 16,700 店を展開し、一週間に 5 千万人の顧客にサービスを提供しています。しかし、好調な出店の結果、2007 年 10 月から 2008 年 10 月にかけて米国内の SCM 経費は 7.5 億ドルから 8.25 億ドルに増加する一方、新規店舗の初年度売上高が 10%低下するという状況に直面していました。このため、2008 年には、トップダウンで生産管理のギボンズ氏を SCM 担当副社長に抜擢し、グローバルな SCM 改革を促進しました。その結果、顧客サービス水準を維持しながら過去 2 年間で 5 億ドルの経費削減を実現しました。さらに、昨年暮れには幹部が 6 つの大学を訪問しロジスティクスや管理工学、OR 分野の優秀な学生を募集して、今後 20 年間の展開を

可能にする人材育成に取り組んでいるそうです。

2008年からのSCM改革では、最初にグローバルに展開し複雑化したSCMの組織を簡略化し、次いでSCMを再評価し、3PL業者と協力してコスト削減を促進し、店舗のサービス水準向上を図ると共に、将来の店舗展開のための基礎を強化する取り組みを続けています。

2008年の改革当初に確認した段階では店舗への配送の半分は予定時刻に配送できていなかったそうです。またSCM経費の65~70%は外部委託によるものであり、実態を把握できていなかったそうです。

スターバックスのコーヒー農園はアフリカや中南米等世界各地にあり、その多くが地域紛争を含めてセキュリティの面でも大変な地域にあるので生産・調達のSCMリスク管理は、このSCM改革とは別の意味で有名です。焙煎工場は米国内自社工場が3箇所だったのを、SCMコスト分析の結果、工場から店舗への配送のトータルコスト削減のために1箇所新設し4箇所に増やしました。自社工場はオランダを含めて5箇所あります。そのほか協力工場が北米、欧州、アジア、南米に24箇所あります。

店舗への配送は年間270万件、週7万から8万件を処理し、合わせて世界中からの輸入物流があります。世界中の産地から輸入されたコーヒー豆は6箇所の倉庫または上記の工場にトラック輸送されます。焙煎・包装された商品は米国内では5箇所の地域DC（1DC床面積は2、3ha規模）に輸送されます（欧州2箇所、アジア2箇所）。さらに店舗配送向けの中央DC（米国内33箇所、アジア7箇所、カナダ5箇所、欧州3箇所）に配送され、コーヒー以外のナプキンやカップ、クッキー等の商品と混載されます。SCM改革ではこうしたグローバルSCMの費用対効果の把握を行っています。ちなみにコーヒー豆の調達費は6億ドルですが、その他の商品を合わせると総額は年間25億ドルになるそうです（2009年純収入総額は97億ドル、全世界の従業員は2009年9月現在14万2千人）。

さらに、3PL業者には週次のSCORカード評価（0、1判別の簡易な手法）を行い、納品時刻、安全性、注文充足率、費用、間接経費等の項目を評価して改善を進めています。

改革以前には、物流事業者任せに放しだったSCMでしたが、SCM改革の過程でグローバルな輸送時間・費用、調達・生産・配送の全体を把握することができ、今後の店舗拡大に向けても強固な基礎を構築することができたそうです。

資料：CSCMP, Supply Chain Quarterly, 2010/Q4  
[www.SupplyChainQuarterly.com](http://www.SupplyChainQuarterly.com)

付録：ベトナムのローカル3PL企業

最近、日本企業の急速なグローバル展開を反映して、アジア諸国の現地企業に関する打診が多いので、ベトナムの例を紹介しておきます。上記資料には、ベトナムのSCMコンサルタントとのインタビュー記事が掲載されています。その中で、ベトナムの現地3PL企業としては、港湾関連が多いようですが、下記の企業例が紹介されています。

Sai Gon New Port, ICD Song Than, ICD Long Binh, Sotrans, ITL-Kepple

また、紹介されているベトナムのSCMコンサルタント会社（SCM Vietnam）社長はKurt Binh氏で、2007年設立の若い会社ですが、同社のウェブサイトは下記のとおりです。

<http://www.scmvietnam.com/home/node/55>

【問合せ先】JILS 総研 吉本 [yoshimoto@logistics.or.jp](mailto:yoshimoto@logistics.or.jp)

★-----

■賀詞交歓会・新春の集いのご案内■  
東京・大阪・名古屋・福岡

★-----

JILSでは毎年1月に、ロジスティクス関係者の皆様が一堂に会し、新春を寿ぐ場として、東京で「新年賀詞交歓会」を、また、大阪、名古屋、福岡の各地で

「ロジスティクス新春の集い」を開催いたしております。  
2011年の開催概要を以下のとおりご案内いたします。  
皆様のご参加をお待ちいたしております。

- |   |                    |          |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 2011年新年賀詞交歓会       | 1月14日(金) |
| 2 | 関西ロジスティクス新春の集い2011 | 1月20日(木) |
| 3 | 中部ロジスティクス新春の集い2011 | 1月25日(火) |
| 4 | 九州ロジスティクス新春の集い2011 | 1月28日(金) |

プログラムの詳細は、以下Webをご覧ください。  
<http://www.logistics.or.jp/member/shinsyun2011.htm>

▼大会・展示会▼

★-----

■全日本物流改善事例大会 2011 ■ 発表者募集中!

～応募締切日迫る!1月21日(金)まで～

★-----

【募集内容】

全日本物流改善事例大会は、優れた物流改善の事例を発表し、合理化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う交流の場です。ちょっとした工夫や、さりげない努力、すぐに現場で活用できそうな改善成果の事例等を気軽にご応募ください。応募事例の中から選考された「優秀事例」は、全日本物流改善事例大会2011にてご発表いただきます。発表者にはクリスタルが授与されるほか、特に優れた内容には、実行委員会で審査のうえ、「物流合理化賞」が贈られます。物流現場や部門の方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

※当会HPに、2010年度(前回)物流合理化賞・物流合理化努力賞を受賞された5つの改善事例を掲載しております。是非ご覧ください。

【募集領域】

発表いただく改善対象領域の範囲により、物流センター等での現場改善を対象とした「物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「物流管理部門」からのエントリー方式にて募集いたします。

【応募締切日】2011年1月21日(金)

【全日本物流改善事例大会2011開催要領】

会期:2011年4月19日(火)

会場:国際ファッションセンタービル(東京都・墨田区)

【問い合わせ先】普及開発部 松井

e-mail:matsui@logistics.or.jp

TEL:03-5484-4021

■応募の詳細等は下記URLをご確認ください。

[http://logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/zennihonkaizen2011\\_hb.html](http://logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/zennihonkaizen2011_hb.html)

★-----

～企業のロジスティクス高度化・効率化を支援する、  
各種のソリューション情報が一堂に会する展示会～

■「ロジスティクスソリューションフェア2011」出展者募集■

《新規顧客を獲得する絶好のチャンスです!》

★-----

企業が抱えるロジスティクス課題解決の一助となることを目的に、ロジスティクスの高度化・効率化に関わる製品・サービスが一堂に会する展示会、「ロジスティクスソリューション2011」を、2011年10月31日(月)～11月1日(火)の2日間、東京ビッグサイトにて開催いたします。

【開催概要】

名 称：ロジスティクスソリューションフェア 2011  
会 期：2011年10月31日（月）～11月1日（火）  
会 場：東京ビッグサイト 西3ホール  
予定規模：100社／150小間  
来 場者：10,000名（予定）

★★出展をご希望の方は、下記までお問い合わせください★★

☆☆ロジスティクスソリューションフェア 2011 詳細はこちらから！！

<http://logistics.or.jp/lsf/lsf2011kaisaiannai.pdf>

【問い合わせ先】普及開発部 星野・松井

e-mail : LS-Fair@logistics.or.jp

▼講座・セミナー・研究会▼

★

～2011年度より、カリキュラムが新しくなります！～

■ 物流技術管理士資格認定講座 新カリキュラムのご案内 ■

★

物流技術管理士資格認定講座は、物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメントの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ講座です。

この度、受講者、講師、企業のニーズを伺い、カリキュラムを改訂しました。

2011年度より、新しいカリキュラムの物流技術管理士資格認定講座がスタートします！

<主な改訂事項>

- 1) 【グローバルロジスティクス（第10単元）】の新設  
：概論、国際物流の基礎、各地域の物流事情、企業事例
- 2) 【ロジスティクスの社会的役割（第2単元）】を新設  
：コンプライアンス、法制度、標準化、行政の動向 等
- 3) 【物流アウトソーシングと3PL（第11単元）】を新設  
：物流アウトソーシングと3PL、契約のポイント 等

<その他>

プレミーティングにおいて、ヒューマンネットワーク構築のための懇親会を実施します。

新カリキュラムの詳細は、下記 URL の PDF ファイルをご覧ください。

<物流技術管理士資格認定講座のご案内>

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#clm>

- ◆例年どおり、年間6期開催です（東京3期、大阪2期、名古屋1期）。
- ◆開講時期・日程につきましては、2011年1月下旬にご案内いたします。
- ◆講座に関する詳細な説明を、ご希望される方、また、ご質問等がございましたら、

下記、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

【問い合わせ先】 人材教育部 e-mail : [education@logistics.or.jp](mailto:education@logistics.or.jp)

★

～人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略～

■ 物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011のご案内 ■

★

ロジスティクスの高度化による企業競争力を強化するためには、物流・ロジスティクス関連の業務を担う従業員を、体系化された人材育成計画のもとで継続的に育

成し、自社の「人材力」を高めていくことが重要となります。

当協会は、この度、「物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011」を

作成しました。詳細は下記 URL の PDF ファイルをご覧ください。

<物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011>

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/index.html>

★-----  
~グループ演習を通じて物流コストダウンのための実践力の基礎を習得~  
■物流技術管理士補スクーリング 2011（春）のご案内■

★-----  
本スクーリングは、産業能率大学が実施する所定の通信教育修了者や  
J I L S 主催の「ロジスティクス基礎講座」の修了者などを対象に、  
物流コストダウン戦略の企画立案に取り組んでいただくグループ演習を  
通じて、コストダウン実践力の基礎の習得を目的として実施いたします。  
なお、本スクーリングを修了された方には、J I L S より「物流技術管理  
士補」の資格を授与いたします。

<会 期（2日間）>

A（土日開催）：2011年2月5日（土）～6日（日）10：00～17：30

B（平日開催）：2011年2月24日（木）～25日（金）10：00～17：30

\* 同一のプログラムですので、A、Bどちらか一方のみお申込下さい。

<会 場>

タイム24ビル 2F研修室（東京都江東区）

<受講資格>

以下のいずれかの条件を満たした方

- ・（学）産業能率大学「物流の仕事がわかるコース」および  
「物流技術を極めるコース」両コースの修了者、または「新・物流管理コース」の修了者
- ・ J I L S 「ロジスティクス基礎講座」の修了者
- ・ 東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者

【必須】受講前に課題レポートをご提出いただきます。

<講師>

野田 洋史 氏（HI研究所 代表）

野口 英雄 氏（ロジスティクスサポート・エルエスオフィス 代表）

<受講料>

72,450円（1名あたり：消費税込み）

詳細は下記URLをご参照下さい。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#clms>

発行：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 3F

TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031

<http://www.logistics.or.jp/>